

広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351/5581(輸血部長室)
Internet:www.aids-chushi.or.jp

時間変更のご案内 平成21年度第2回中国・四国 ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

開催時間が15分繰り下げとなりました！

日時：平成21年12月18日（金）14:15～17:15
場所：八丁堀シャンテ 3階メイプル（広島市中区上八丁堀8-28）

14:20～15:10 特別講演 『HIV感染症：進歩と変化』
講師 菊池 嘉（国立国際医療センター戸山病院 エイズ・治療
研究開発センター 臨床研究開発部長）
座長 山田 治（山口大学大学院医学系研究科 教授）

15:15～16:25 特別講演 『MSMのHIV感染リスク行動の現状
- 性的指向と健康問題』
講師 日高庸晴（関西看護医療大学 看護学部看護学科）
座長 高田 昇（広島大学病院 エイズ医療対策室長）

公開会議です。参加希望の方は、直接会場までお越し下さい。

目次：

開始時間変更のご案内：1 平成21年度第2回中国・ 四国ブロックエイズ治療	1
ご報告：海外実地研修 広島大学病院 薬剤部 関野 由希	1.2.3
ご案内：サイトメガロウィ ルス研究会	4
ご案内：2009年12月から のHIV/AIDS関連イベント	4



ご報告

平成21年度エイズ治療拠点病院・サンフランシスコ研修報告 広島大学病院 薬剤部 関野 由希



私がHIVに興味を持った
きっかけは、2006年3月。横
浜の某大学病院での学生実習
で、治療の大変さを偶然知っ
たことだった。

それから約3年半、2009年10月24日。日本を發
ち、遠くはサンフランシスコの森の中にいた。ここ
はAIDSのメモリアルパーク。

メンバーとの顔合わせを兼ねた散策。日本は真夜
中。陽射しが眩しい。眠い。辛い。大きな石の床に
無数の名前が刻まれているのを見て目を覚ます。

感染して亡くなった人、治療に貢献した人。沖縄
の石碑のよう。「ここらへんじゃ、HIVとは戦う
ぞっていう意識なのよ」通訳兼コーディネーターの
まさみさんが言う。研修の終わり頃、その言葉を実
感することになる。



メモリアルパークにあった石碑

医師向けのコースに、薬剤師として参加した。概要は先月号で柴先生が書いて下さっているが、研修生によって多少スケジュールが異なる。先生と違うところは以下の通り。

- * UCSF HIVチームミーティングの見学
- * HIV専門の薬剤師に半日密着
- * Open Hand(ボランティア施設)の見学
- * 一般病院において患者と交流

そのなかでも印象に残ったものをいくつか挙げておく。

HIV専門の薬剤師の仕事

HIVチームミーティング

本日外来受診をする人についてカンファ。医師・薬剤師・看護師・看護助手・MSW・ボランティアなどで構成されている。積極的に発言していた。

外来診察室にて

“Pharm D”という名前で薬剤師にも専用の診察室が与えられている。服薬指導、副作用のチェックをする。長い人には30分前後かけており、来院できない患者には電話をかけていた。

日本では専用の部屋はないが、仕事の内容は違いはない。服薬を嫌がる患者に対し、薬剤師の研修生が頭ごなしに説得する。それではだめ、と上の薬剤師が言う。服薬アドヒアランス向上には、まず会話上手であることが求められる。コミュニケーション・スキルは海を越えても大切なのだ。



ピルケースにセットして患者に薬を渡す。

Open Hand

患者に無料で食事・食材を提供する施設。貧しい・身体的機能などの理由で食事が用意できない人へ、ボランティアが昼・夕の1日2食を作り、宅配する。1日に1600食ほど。食事は病態に合わせ、糖尿

病食、軟菜食、乳がんの患者に対しては低脂肪食、といった具合に6タイプに分かれる。また、小さなスーパーマーケットのような場所もある。

チェックシートに基づき、野菜から2つ、乳製品から1つまで...などと購入に制限はあるが、患者は週1回、無料で買い物ができる。

これだけの食糧を安定して供給するには、資金が必要。公的機関からの援助もあるが、企業からや契約農家の善意や寄付なども大きいとのこと。野菜や豚肉は生産者の善意により、最高級のもが提供される。病気への理解が深いことが伺える。商品のピーナッツバターをお土産に頂いた。無添加のこだわりがあり、ピーナッツをすりつぶすところからここで作る。“food security”という概念、食べ物に対するマネージャーの情熱を感じた。



上:野菜売り場。2個まで取って良い。



下:ピーナッツバター。過去食べた中で一番おいしい。

アメリカ、恐怖の歴史。そして日本...

カストロ通りという、有名なゲイタウンがある。帰国の数日前に訪れてみた。ゲイ・コミュニティの象徴である大きなレインボーフラッグがはためく。観光地なので通りは広く明るく、新宿2丁目よりもやや歩きやすい感じだ。

「1980年代、ゲイの大爆発が起きた。サンフランシスコに行けば幸せになれるとあって、世界中からゲイが集まってきたんだ。」患者のJさんが言う。「でも、HIVが広がって次々と人が死んでいった。僕の友達もパートナーも。200人以上は失った。恐かった。」ビデオ学習として”And the band played on”というDVDを観た。AIDSの始まりから、

原因を突き止めるまでの話。Jさんの言うことが本当に、もっと恐ろしく描かれていた。原因不明、ゲイの疫病、死。恐怖、差別、混乱...街も人も苦しんだのだろう。だからみんな戦うのか。初日の公園での出来事とつながる。



魅惑のカストロ通り。有名な看板。可愛い雑貨屋・クッキー屋などもある。

一方日本ではどうだろう。血液製剤の事はあったが、性的接触からの感染増加は、アメリカと大きなタイムラグがある。少なくとも薬が開発されてから。

HIVに感染して放っておけば、肺炎を起こしたり、普通はならない癌ができたりして、死んでしまう。薬があるとはいえ、一生飲み続けなくてはならない。何回も飲み忘れると効かなくなることがあるし、副作用で続けられなくなることもある。薬代のこととも考えなくてはならない。

治療は、決してたやすくはない。このことを、どれだけの人知っているのだろう。知っていたら、当然感染したくないはず。今、毎日薬を飲んで治療をして、健康な時と変わらぬ生活を送っている人は多い。しかし並々ならぬ努力で続けていることを忘れてはいけない。日本で感染は拡大を続ける。国民のHIV/AIDSへの認識が甘いからか。日本には、街中を震撼させるアメリカのような歴史がないことが一因かもしれないと思った。

薄さ0.02mmの壁



この研修で一番大切だと思ったこと。感染はしない方がいいからとにかく予防。感染していても予防。うつさない為に、耐性ウイルスをもらわぬ為に。最後のまとめの日、ある試算をした。

1か月分の薬代とS社のコンドーム(Latex free, 0.02mm, 最高級)を1日1個使うとして、コストを比較。遥かにコンドーム代の方が安い。1日3個でも、安い。しかし、未使用が多いという現実。コスト、面倒、愛情を感じない...色々な理由があるようだ。薄さ0.02mmの壁は厚い。しかしsafer sexには有効なのだ。国はヘンテコな建造物を作らずに、その資金をコンドーム代にして配ればいいのに。

それでも。感染した時のために私たちはいる。今回会った、HIV/AIDSに携わっている人はみんな真剣で、仕事に誇りを持っていた。研修を通して、多くのことを教わった。知識は勿論のことだが、医療人として、何か大切なものを得たほうが大きいと感じる。

さいごに

英語が話せない、海外経験は台湾の食べ歩き2泊のみ、臨床経験3年未満...いきなりHIVでアメリカ!? 心配だらけで向かったが、街にはアジア系も多く、色んな顔の人が色んな格好でいた。薬剤師も鼻にピアスだ。何があっても全く気にしない、自由の国。ゆってい精神と呼ぼう。この時点で全ては杞憂となる。英語も日に日に何とかかなり、最後はひとり街へ買い物に走るまでに。

帰国の前日、2週間で初めての雨。憂うつしていると、窓の外にうっすらと虹が。この研修は、成功ってことかあ。思わず写真を撮った。



研修お疲れ様！と祝福されたよう。

何よりも念願の領域で、医療人として関わられて嬉しい。とても貴重な経験だった。

何に生かしていくかは、まだ模索中。これもエイズ予防財団の皆様、高田先生を始めとしたエイズ医療対策室の皆様のおかげ、そして一番は現地の小林まさみさん・David Weisnerさん。全員に感謝致します。

ご案内 サイトメガロウイルス研究会



日時：平成21年12月11日（金）18：45～20：00

場所：広島大学病院 カンファレンスルーム2

座長：高田 昇（広島大学病院 輸血部長・エイズ医療対策室長）

内容：特別講演：「サイトメガロウイルス感染症
～基礎的観点と耐体ウイルスについて～」

演者：白木 公康（富山大学医学部 ウイルス学 教授）

共催：広島大学病院エイズ医療対策室・田辺三菱製薬株式会社

事前申込みは必要ございません。直接会場へお越し下さい。
お問い合わせ、エイズ医療対策室（内線5351）まで。

ご案内 2009年12月からのHIV/AIDS関連イベント

HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修会 （平成21年度第2期）

日時：2009年12月14日（月）～15日（火）

場所：広島大学病院

第5回看護師のためのエイズ診療従事者研修 アドバンスト・コース

日時：2009年12月18日（金）～19日（土）

場所：広島大学病院 外来棟2階会議室

3病院定例会議・オープンカンファレンス

日時：2009年12月22日（火）18：00～

場所：県立広島病院 新東棟2階 総合研修室

内容：ミニレクチャー、症例検討

病院職員研修会

日時：2009年1月6日（水）17：45～19：00

場所：入院棟2階 カンファレンスルーム2

内容：「薬害 - 医療従事者に知ってほしいこと - 」

講師：特定非営利法人ネットワーク医療と人権
理事 花井 十伍 先生

第24回抗HIV薬服薬指導のための研修会

平成21年度第2回HIV/AIDSカウンセラー研修会

日時：2010年1月9日（土）～10日（日）

場所：広島国際ホテル（広島市中区）

平成21年度包括的HIVカウンセリング研修会

日時：2010年3月13日（土）～14日（日）

場所：ホテルニュータナカ

平成21年度広島大学教職員向けエイズ講演会

日時：2010年3月25日（木）18：00～（予定）

場所：広島大学医学部第4講義室

内容：広島大学病院のエイズ診療（仮）

演者：兒玉憲一（広大大学院教育学研究科 教授）

高田 昇（広大病院 エイズ医療対策室長）

主催：広島大学病院感染症対策委員会・
エイズ医療対策室

・ ・ は事前応募の必要はございません。興味のある方は、直接会場までお越し下さい。お問合せは、エイズ医療対策室（内線5351）迄。



<ご意見募集> ご意見やご希望がございましたら、

エイズ医療対策室（5351/5581）までお寄せください。